

令和8年度 第3回 東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年9月7日（月） 午前9時30分から午前11時まで
- 2 開催場所 東小学校 1階 会議室
- 3 出席委員 小名木 秀雄、林 左和子、今中 秀裕、中川 清子、杉山 晴康、
中村 将義、鈴木 憲人、曾布川 洋平、松井 育子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 佐藤 拓男（中部協働センター長）
- 6 学 校 安川 剛史（校長）、中谷 佳主枝（教頭）、
船越 裕康（CS担当教職員）、原 真衣子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 磯部 志保（学校・地域連携課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 原 真衣子
- 10 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、小名木会長から鈴木委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
（1）学校評価と課題の改善策について
（2）支援活動の具体化について
- 12 会議記録
司会のCS担当教職員から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校評価と課題の改善策について

（2）支援活動の具体化について

- 議長の指示により、CS担当教職員から、別紙資料に基づき学校評価と課題の改善策について説明があり、委員からは以下の発言があった。
 - 学校と保護者と子供の評価に乖離がある。挨拶については、子供はできていると評価している。挨拶運動などの活動もあり、子供たちの中では以前よりもできていると評価しているように見受けられる。どうしてこんなに乖離があるのか不思議に思う。（今中委員）
 - 学校ホームページやブログで挨拶運動に関する投稿をするなどして、改善したい内容を家庭に知らせていくのはどうか。どのように情報の共有をしていくかが課題であるが、ブログなどを活用するのも一つの手だと思う。（中村委員）
 - 先生方の期待値が高すぎるのではないかと感じる。まずは親が率先して行動する姿を見せていくことが大事ではないか。子供は大人の行動を見て学び、少しずつできるようになっていく。多くを求めすぎてしまいがちだが、子供は子供らしくいることも大事にしたい。（中川委員）

- 心の天気アンケートという素晴らしい取り組みがある。心の天気が悪いときには、挨拶に対しても消極的になったりするのかもしれないと感じた。(中村委員)
- 子供より大人の方が、心の天気が分かっていないように思うときがある。子供に求めるばかりではなく、地域の大人からの声掛けをもう少し積極的に行っていくのが良いのではないかと感じる。(杉山委員)
- 挨拶については、サッカークラブでも繰り返し子供たちに伝えている。大人がやってみせることも大事。家でできていないことは、外ではできないと思う。(鈴木委員)
- 毎月挨拶運動をしていると、子供たちは大きな声で挨拶をしてくれる。でも、通学路で旗振りをしている人には、ほとんど挨拶ができていないと聞いた。時と場合によって、挨拶をする、しないという線引きが子供たちの中にあるようだ。先生方は、挨拶をしない部分も知っているので、評価が低いのではないか。(曾布川委員)
- コミュニケーションの第一歩が挨拶である。出会った人には挨拶をするということが、当たり前になるようになっていくのが理想である。(杉山委員)
- 子供は、相手を信頼しているから挨拶をするという面がある。関係は少しずつ築いていくものなので、焦らずに進めていくことも大事。まずは大人から行動を起こす。その上で、長い目で見守っていければ良いと思う。(林委員)
- 自己評価はそれぞれに基準が違うので、感じ方に個人差があるのは仕方がないと思う。(松井委員)
- 子供と顔なじみになっていくと、みんな大きな声で挨拶をしてくれる。挨拶には人間関係も大きく関わっているということだと思う。挨拶は簡単なようで難しく、大人でも難しい。コロナ禍以降、地域や保護者同士のつながりも希薄になってしまった。学校とPTAと保護者の関係性として、学校とPTAは近いが、保護者だけは少し距離があるように感じる。(小名木委員)
- PTAの役員をしている中で、保護者でも特に父親との距離が遠いと感じる。(曾布川委員)
- 授業参観では、父親も一緒に参加している姿が多く見られる。でも、学校からのアクションを家庭内でみんなが共有できているかという面では、できていない家庭も多くあると思う。両親へのアンケートなどを行ってみてはどうか。(杉山委員)
- 学校から手紙が来ても、父親まで届かないことが多い。共働きの家庭も多く、子供は習い事などもあって親子の時間がなかなか取れないのが現状である。父親は特に、子供や学校とのつながりが希薄であると感じる。(中村委員)
- 家庭の中で、父親との関わりがもっと持てると良いと思う。(今中委員)
- 保護者を追い詰めないことも大事。子供への期待値が高いほど、感じ方の乖離が大きい。保護者は子育てへの不安を常に感じており、追い詰められている人もいる。もう少し力を抜いても大丈夫だと伝えても良いのではないか。(林委員)
- 今まで失敗や挫折をしたことがない子が、壁にぶつかったときに問題が起きることが多いように思う。失敗したときや挫折したとき、大人がどのようにフォローするかも課題である。(中村委員)

- 子供が不登校になったとき、どこに相談したらいいのかわからないという声を聞く。制度がたくさんあっても、悩んでいる人への支援になかなかつながらないことがもどかしい。(杉山委員)

○ 学校支援コーディネーターからの報告

- ・ 前期は、4年生の認知症講座と5年生の手縫い指導を行った。
 今後は5、6年生のミシン補助を行う予定で、支援してくれるメンバーが15名ほどいる。地域の方も参加してくださり、とても心強い。
- ・ 学校支援コーディネーターの研修会に参加したが、地域や学校によって違いがあって興味深かった。今後も東小の地域性を生かして活動していきたい。

○ その他

司会から、次回会議は、令和9年2月10日(水)午前9時30分から東小学校会議室で開催する旨の報告があった。

次回議長については、委員から松井委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。